

書名		新編 新しい保健体育		2 東 書	
項目					
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習への関心・意欲を高める活動を設け、生徒が主体的に学習に取り組めるような内容になっている。 ○学習の内容と流れがわかりやすい紙面構成、資料の充実、健康や安全に関する内容を科学的に理解、習得できる内容になっている。 ○習得した知識を活用する学習活動の場面を設け、思考力・判断力・表現力を育成することができる内容になっている。 ○生涯にわたって運動に親しみ、健康を保持増進していくための意志決定や行動選択を行える実践力を育成する内容になっている。 				
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページを1単位時間で学習することを基本としていて、学習の流れに即している。 ○学習のねらいを明記しその「キーワード」となる言葉を明記してある。また、巻末にキーワードの解説が設けられ基礎基本が身につけられるようになっている。 ○レイアウトに沿って学習が進めやすいようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○習得した知識を活用して取り組むようになっており、考える、話し合う、発表を通して思考力・判断力・表現力が身につくようになっている。 ○欄外にクエスチョンがあり、習得した知識をいかせるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事例などをもちいたディスカッション、ブレインストーミングなどの学習方法が取り入れられ、各種マークにより他教科や他ページとのつながりがわかりやすく示されている。 ○本時の課題を「今日の学習」として具体的で分かりやすい言葉で示し、生徒が見通しをもって学習に臨むことができるよう考えられている。また、主体的に学習に取り組むためのクイズや「やってみよう」、「読み物」を設けている。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの学び方では、運動やスポーツについて、さらに調べる場合の視点などが示され、運動やスポーツに多様に関わることができるよう工夫されている。 ○運動やスポーツは、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることが示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がなされている。 ○章末資料「スポーツライフ」では、運動やスポーツとの関わり方は、人によって様々であることを示し、今後のスポーツライフについて考えられるようになっている。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○応急手当の仕方では、イラストや写真、フローチャートを掲載し、実習を通して理解が出来るようになっている。また、web ページで動画を視聴、確認しながら実習することも可能になっている。 ○犯罪被害の防止では、場所別犯罪発生件数をグラフで示したり、イラストを使って危険予測・危険回避について考えさせたりしている。また、危険を予測し回避する力が身につくような課題を設けるなど、実践力を育成する工夫がみられる。 ○1単元の最後に「生かそう」が設けられ、学習したことを自分の生活に生かしたり、興味・関心に応じてさらに調べたりする活動例が示され、実践力の育成につながる工夫がされている。 				
色					
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習方法の理解を深められるよう「保健体育の学習方法」が示されている。 ○各章末に「章末資料」、「確認の問題」、「活用の問題」、「学習のまとめ」が設けられ、学習内容の理解が深められるようになっている。 ○学習内容に関連する情報やホームページを掲載している。 				
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○「今日の学習」→「やってみよう」→「本文・資料」→「考えてみよう」→「生かそう」という学習の流れで構成されている。 ○ポイントとなる語句が太字で書かれ強調されている。 ○各種のマークを活用し、資料を読み取るためのポイント等が示されている。 ○口絵部分に「この教科書の使い方」として学びのヒントや記号がまとめられている。 				
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章の扉には、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。「今日の学習」「やってみよう」、「本文・資料」、「考えてみよう」、「生かそう」という学びの筋道が見える構成になっており、キャラクターの吹き出しで学習のヒントを伝えている。保健編、体育編の内容が学年ごとにまとめや自己評価の欄がある。 				

書名		4 大日本	
項目	新版 中学校保健体育		
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○明るく豊かな生活を送ることができることを考えた内容になっている。</p> <p>○身近な生活場面の考察や、自ら考えることで、主体的な学習を行うことができる内容になっている。</p> <p>○体力向上や健康に対する理解を深め、知識を適切に実践していくための思考力、判断力、表現力などの資質や能力の基礎を育成できる内容になっている。</p> <p>○自己の学習課題から出発し、必要な知識や技能を課題解決型学習によって習得し、自ずと生活に実践化できるような内容になっている。</p>		
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○「今日の学習の課題」、「考えよう」と身近な疑問から学習がスタートし興味をもって進められる工夫されている。</p> <p>○各小単元の最後に「キーワード」として重要語句を示し知識の定着が図れるようになっている。</p> <p>○各章の章末「学習のまとめ」では、<重要な言葉>と<学習の要点>で全体を振り返り知識・理解の総まとめができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各章単元の「学習を活かして」で学んだことを自分の生活に活用するための具体的な課題が示されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学習内容をより深く理解するために「ミニ知識」や「キーワード」を提示したり、主体的に学習に取り組むために「トピックス」や「リンク」、章末資料の「トピックス+」などの欄を設けている。</p> <p>○学習のまとめにおいて「重要な言葉」と「学習の要点」がまとめられ、自学自習を行いやすいよう工夫されている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○運動やスポーツの学び方では、領域や種目に応じた特有の技術・作戦・戦術についてイラストや写真で説明し、視覚的にとらえさせることで、理解を深める工夫がされている。</p> <p>○運動・スポーツを行うことによる心身や社会性の発達について示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。</p> <p>○運動やスポーツの必要性和楽しさでは、これまでの経験を振り返りながら具体例と合わせて学ぶことで、自分と結び付けて考えられるようになっている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○応急手当の仕方では、反応の確認から心肺蘇生までのしかたを見開き2ページで写真やイラストを使い見やすく説明し、実習を通して理解できるようになっている。</p> <p>○犯罪被害の防止では、中学生の犯罪被害発生場所をグラフで示したり、危険予測・危険回避について考えさせたりしている。また、犯罪発生の人的要因の例をイラストで分かりやすく示し、その対策について考えさせるなど、実践力を育成する工夫がされている。</p> <p>○「学習を活かして」が小単元末に設けられ、習得した知識を日常生活で活用することを促し、知識の定着化と実践力の育成が図られるように工夫されている。</p>		
色			
資 料	<p>○大きめの資料や図、生徒の興味・関心を高める「トピックス」「ミニ知識」が随所に設けられている。</p> <p>○イラストや写真を組み合わせ、学習内容を視覚的に捉えるようになっている。</p> <p>○欄外に学習に関するホームページが掲載されている。</p>		
表記・表現	<p>○「学習の課題」→「考えよう」→「本文・資料」→「学習を活かして」という学習の流れで構成されている。</p> <p>○ポイントとなる語句が極太字で書かれ強調されている。</p> <p>○章末に「学習のまとめ」として「重要な言葉」「学習の要点」が示されている。</p> <p>○巻頭部分に「この教科書で学習するみなさんへ」として学習の流れが示されている。</p>		
総 括	<p>○各章の始めに「この章で学習すること」として、その章の課題と学習の流れが示されている。ワイドな見開き構成になっている。習得すべき基本用語を強調文字と「キーワード」として示している。関連資料を章末にまとめ、幅広い知識を習得できる資料を用いて発展的な内容を示している。体育編、保健編とともに各リンクにおいて相互に関連するページを示し、横断的な学習を促すようになっている。</p>		

書名		保健体育		50 大修館
項目				
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的知識が習得でき、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫がしてある内容になっている。 ○科学的な根拠をふまえた表現、自発的・自主的な学習の姿勢が身につくようにした内容になっている。 ○記述の裏付けとなったり理解を助けたりする資料が多く用いている。 ○イラストや記述等において、男女の平等という観点から配慮しており、カラーユニバーサルデザインにもとづき、グラフの表現や色づかいにも配慮した内容になっている。 			
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章のはじめに中学生が抱く疑問を掲げその章で学ぶことを大きくつかむことができるようになっている。 ○重要語句が太字にで書かれていたり学習項目をキーワードとしてまとめてあり基礎基本が身につけられやすくなっている。 ○各章の最後に「学習のまとめ」のページが設けられており「学んだことを振り返ってみよう」、「学びを生かそう」「学びを広げよう」の項目があり知識の確認できるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各項目の最後に Try が設けてあり自ら考え・判断し・表現する力が身につくようになっている。 ○思考力・判断力・表現力を身につけるために、学んだことを生かして実際に考える課題として「活用」や自分の問題として考えさせる課題 Challenge が設置してある。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを深めたり、発展させたりするために「活用」という作業課題が示されている。また、主体的に学習に取り組めるよう本文に関連した話を「コラム」「事例」「URL」として設けている。 ○各項目の最後には、「Try」が設けられ、自ら考え・判断し・表現する力がつくよう工夫されている。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの学び方では、運動の技術について連続写真を使って説明するなど、視覚的にとらえることで理解を深める工夫がされている。 ○運動やスポーツの中でより良い人間関係を築くことの大切さが示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。 ○運動やスポーツには多様なかわり方があることを学校・地域・職業別に自分のスポーツとのかわり方について考えられるようになっている。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○応急手当の仕方では、イラストで説明したり、写真やフローチャートを載せたりして、実習を通して理解ができるようになっている。特にAEDの使い方について丁寧な解説があり、練習の際のチェックポイントが示され効果的な実習が行えるようになっている。 ○犯罪被害の防止では、防犯の取り組みを写真で示したり、「ネットワーク利用犯罪」からの危険回避方法について考えさせたりするなど実践力の育成を図る工夫がされている。 ○各章の最後に「チャレンジ」「学習のまとめ」のページが設けられ、学習の復習・生活への応用・学習の発展ができるようになっている。 			
色				
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「キーワード」や「コラム」、「事例」を設けている。 ○章末ごとに「学んだことを振り返ってみよう」、「学びを生かそう」、「学びを広げよう」が設けられ、学習内容の理解が深められるように構成されている。 ○欄外に学習内容に関連するホームページが掲載されている。 			
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文部分には、薄黄色の下地が敷かれている。 ○図や表、資料に吹き出しによる説明を加えている。ポイントの語句を太字で強調している。 ○用語解説や関連情報などマークを使用し、表示している。 ○最初の部分に「この教科書の使い方」として記号の意味や学習の流れが示されている。 			
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章の扉には、単元の目標につながっていくイメージ図を示し、学習の見通しをもてるようになっている。章の始めに、中学生が抱く疑問を掲げている。科学的な根拠を踏まえた学習内容が重視され、関連する図表や写真が示されている。また、実生活に関連した課題は4ページで構成されている。章末には学んだことを「振り返ってみよう」、「生かそう」、「広げてみよう」と学習のまとめのページが設定されている。 			

書名		新・中学校保健体育		2 2 4 学 研	
項目					
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現及び自らの健康を適切に管理し改善していく 資質や能力の基礎を養うために必要な基礎的・基本的内容を重視するとともに内容の明確化・体系化・現代化を図った内容になっている。 ○保健体育の基礎・基本となる知識を取り上げ、生徒の興味・関心を引き起こし、意欲・意志を養うために必要な内容になっている。 ○身近な生活における課題を発見し、解決する資質や能力を養うための内容、知識を活用する内容となっている。 ○体育分野と保健分野の関連、他教科との関連を図り、実生活・実社会と結びつけられるような内容になっている。 				
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間の内容を見開き2ページにまとめてあり「学習の目標」「キーワード」が設けられている。 ○学習の目標を冒頭に持ってきていて、見通しをもって学習に取り組みやすくなっている。 ○章末で「用語の確認」、「基礎の完成」、「活用の問題」で知識の習得や確認、自己評価ができるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時間に「活用しよう」または「実習」を設けその時間で習得した基礎的・基本的知識を活用しやすくなっている。 ○各章の「章のまとめ」で知識を活用できるように「活用の問題」が設置してある。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章末に「もっと広げる、深める」「探究しようよ!」を設け個々の興味・関心に応じて学習を深められるようになっている。 ○本文に関連した話を「コラム」や「情報サプリ」「リンク」として設け、知識の深化や興味・関心の高揚が図れるよう工夫されている。 <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの学び方では、戦術や作戦の例を主にイラストで説明することで視覚的にとらえさせ、理解を深める工夫をおこなっている。 ○運動やスポーツを行うことで、ルールやマナーを守ることや他者を尊重することの大切さについて示され、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。 ○スポーツへの多様なかわり方では、具体例として2020年のオリンピック・パラリンピックへのかわり方について考えられるようになっている。 <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○応急手当では、図や写真フロアチャートを用いて説明するとともに、心肺蘇生法の手順とポイントをチェックしながら実習ができるようになっている。 ○犯罪の防止では、犯罪がおこりやすい場所や場面をイラストで示している。また、具体的な2場面における危険予測・危険回避を考えさせるなど実践力を育成する工夫がみられる。 ○各項目の最後に「活用しよう」が設けられ、その時間に習得した知識を活用して、思考したり、判断したり、表現したりする活動を行うことができる。 			
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」など生徒の活動を引き出す設定がされている。 ○章末ごとに「章のまとめ」が設けられ学習内容の理解が深められるようになっている。 ○学習課題関連の深い情報やウェブサイトを厳選し、紹介している。 			
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「課題の確認」→「基礎・基本を習得」→「更に広げ深める」→「活用」という流れで構成されている。 ○ポイントの語句を太字で強調している。 ○用語解説や関連情報などマークを使用し、表示している。 ○口絵の続きに「この教科書の使い方」として記号の意味や学習の流れが示されている。 			
	総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章の扉に小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。基礎的・基本的な知識の習得とその活用・探求に重点を置き、「学習の目標」、「本文・資料」、「活用しよう」という流れで構成させている。習得して知識を活用する課題、資料を読み解く課題、実験・実習等が設けられたり、各章末の「探究しようよ!」で、課題と課題解決の方法などを例示したりしている。 			

